

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月24日	
札幌市長 殿	
提出者 住 所 札幌市中央区北5条西2丁目5番地 JRタワーオフィスプラザ11階	
氏 名 鉄建建設株式会社札幌支店 執行役員支店長遠藤 文美男 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 011-222-6194	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	鉄建建設株式会社 札幌支店
事業場の所在地	札幌市中央区北5条西2丁目5番地 JRタワーオフィスプラザ11階
計画期間	2024 ⁴ 年4月1日～2024 ⁵ 年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D-建設業 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 1,364,779万円 (2023年度、札幌支店)
③従業員数	126名 (札幌支店 2024年4月1日現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリート→破砕、アスファルトコンクリート→破砕、その他がれき類→破砕、ガラス・陶磁器くず→破砕・埋立、廃プラスチック類→破砕・圧縮梱包、金属くず→破砕・切断、混合廃棄物(安定型のみ)→選別・破砕・埋立、建設汚泥→天日乾燥・脱水・固化、紙くず→選別・圧縮・破砕、木くず→破砕、繊維くず→破砕・圧縮梱包、廃石膏ボード→選別・破砕・広域認定、混合廃棄物(管理型含む)→選別・破砕・埋立、石綿含有廃棄物→埋立、廃石綿→埋立 (可能な限り再生利用へ)

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

作業所廃棄物管理責任者(現場代理人)



部門責任者



安全品質環境部(廃棄物管理担当者)



支店長(廃棄物処理統括責任者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設汚泥
	排 出 量	7.0 t	26.0 t
	(これまでに実施した取組) 2023年度「環境管理計画書」に則り以下具体的な適正処置を推進した。 ①排出量を抑制する為、前年度同様省梱包、リターナブル容器や梱包材の使用に努め、木材等は加工したものを搬入し、端材による排出物の減量化に努めた。②建築の新築工事における建設混合廃棄物の排出量：8.0kg/施工床㎡以下をめざし、7.72kg/㎡となった。(新築工事の床面積あたりの原単位排出量。但し施工面積の確定が難しい工事は対象外。)③土木の建設廃棄物のリサイクル率は土木98.5%、建築90.0%を目標とし、土木は96.5%で未達成、建築は94.1%と目標を達成できた。④建設廃棄物に占める混合物の削減を土木1.2%以下、建築3.0%以下の目標とし、土木は1.15%、建築は2.3%と達成した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設汚泥
	排 出 量	10.0 t	30.0 t
	(今後実施する予定の取組) 2024年度「環境管理計画書」に則り以下具体的な適正処置を推進する。 ①排出量を抑制する為、前年度同様省梱包、リターナブル容器や梱包材の使用に努め、木材等は加工したものを搬入し、端材による排出物の減量化に努める。②建築の新築工事における建設混合廃棄物の工事量増加に伴い排出量：8.0kg/施工床㎡以内から8.1kg/㎡以内に變更し管理をする。(新築工事の床面積あたりの原単位排出量。但し施工面積の確定が難しい工事は対象外。)③建設廃棄物のリサイクル率は、土木99.0%、建築99.0%(目標管理)とする。④建設廃棄物に占める混合物の削減を土木1.10%以下、建築3.0%以下(目標管理)とする。 ⑤電子マニフェスト使用率は土木100%、建築100%を目標とする。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 作業所内は分別しやすいように整理し保管場所を定め、分別状況も所長以下職員全員で確認する。また啓蒙教育も随時実施。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年度同様、分別に関する取り組みを継続し実施していく。

第2面) 別紙

(第2面) - 2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（ 2023年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず
排 出 量	2.2 t	- t	246.5 t	10.5 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず
排 出 量	3.0 t	- t	200.0 t	10.0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（2023年度）実績】				
産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	グラスウール
排 出 量	346.9 t	118.7 t	29.6 t	4.6 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	グラスウール
排 出 量	200.0 t	100.0 t	40.0 t	10.0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（2023年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	その他がれき類	コンクリート片	廃アスファルト
排 出 量	364.6 t	603.1 t	15,294.0 t	302.0 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	その他がれき類	コンクリート片	廃アスファルト
排 出 量	300.0 t	300.0 t	1,500.0 t	300.0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（2023年度）実績】				
産業廃棄物の種類	混合廃棄物（安定型のみ）	混合廃棄物（管理型のみ）	石綿含有産業廃棄物（管理型含む）	石綿含有産業廃棄物（安定型含む）
排 出 量	16.3 t	297.9 t	4.4 t	18.9 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	混合廃棄物（安定型のみ）	混合廃棄物（管理型のみ）	石綿含有産業廃棄物（管理型含む）	石綿含有産業廃棄物（安定型含む）
排 出 量	15.00 t	150.0 t	5.0 t	5.0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（ 2023年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃石綿	-		
排 出 量	6.9 t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃石綿	-		
排 出 量	5.0 t	- t	- t	- t

3面)

産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

第3面) 別紙

産業廃棄物の再生利用に関する事項				
【前年度（2023年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
【前年度（2023年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	グラスウール
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	グラスウール
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	グラスウール
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	グラスウール
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	その他がれき類	コンクリート片	廃アスファルト
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	その他がれき類	コンクリート片	廃アスファルト
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	その他がれき類	コンクリート片	廃アスファルト
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	その他がれき類	コンクリート片	廃アスファルト
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物（安定型のみ）	混合廃棄物（管理型のみ）	石綿含有産業廃棄物（管理型含む）	石綿含有産業廃棄物（安定型含む）
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物（安定型のみ）	混合廃棄物（管理型のみ）	石綿含有産業廃棄物（管理型含む）	石綿含有産業廃棄物（安定型含む）
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物（安定型のみ）	混合廃棄物（管理型のみ）	石綿含有産業廃棄物（管理型含む）	石綿含有産業廃棄物（安定型含む）
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物（安定型のみ）	混合廃棄物（管理型のみ）	石綿含有産業廃棄物（管理型含む）	石綿含有産業廃棄物（安定型含む）
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃石綿	-		
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃石綿	-		
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃石綿	-		
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃石綿	-		
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

4面) 産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設汚泥
	全処理委託量	7.0 t	26.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	7.0 t	- t
	再生利用業者への処理委託量	7.0 t	26.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) ①産廃処理委託契約締結の際には、業者の許可、許可品目、登録車輛、任意保険の有無、運搬経路、処理場の能力、処理場の確認を行った後締結する。また、manifestの適切な発行及び電子manifestの対応可能な業者との契約を推奨し、当社管理システムによる還流状況のチェックを行っている。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず
全処理委託量	2.2 t	- t	246.5 t	10.5 t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.9 t	- t	9.9 t	- t
再生利用業者への 処理委託量	2.2 t	- t	246.5 t	10.5 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

(第4面)－3

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	グラスウール
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	グラスウール
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	グラスウール
全処理委託量	346.9 t	118.7 t	29.6 t	4.6 t
優良認定処理業者 への処理委託量	14.4 t	91.0 t	- t	4.6 t
再生利用業者への 処理委託量	346.9 t	118.7 t	29.6 t	4.6 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	その他がれき類	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	その他がれき類	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	その他がれき類	コンクリート片	廃アスファルト
全処理委託量	364.6 t	603.1 t	15,294.0 t	302.0 t
優良認定処理業者 への処理委託量	25.0 t	44.7 t	21.4 t	0.0 t
再生利用業者への 処理委託量	364.6 t	603.1 t	15,294.0 t	302.0 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物（安定型のみ）	混合廃棄物（管理型のみ）	石綿含有産業廃棄物（管理型含む）	石綿含有産業廃棄物（安定型含む）
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物（安定型のみ）	混合廃棄物（管理型のみ）	石綿含有産業廃棄物（管理型含む）	石綿含有産業廃棄物（安定型含む）
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	混合廃棄物（安定型のみ）	混合廃棄物（管理型のみ）	石綿含有産業廃棄物（管理型含む）	石綿含有産業廃棄物（安定型含む）
全処理委託量	16.3 t	297.9 t	4.4 t	18.9 t
優良認定処理業者 への処理委託量	2.3 t	25.8 t	0.0 t	0.0 t
再生利用者への 処理委託量	16.3 t	297.9 t	4.4 t	18.9 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃石綿	-		
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃石綿	-		
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃石綿	-		
全処理委託量	6.9 t	0.0 t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.0 t	0.0 t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	6.9 t	0.0 t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設汚泥
	全処理委託量	10.0 t	30.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	10 t	- t
	再生利用業者への処理委託量	10.0 t	30.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 【支店・現場での実施施策】①建設汚泥の発生の少ない工法・技術の採用及び発注者への提案。②産業廃棄物の発生を抑制する(Reduce) 方策を実施する。③産業廃棄物を再利用する(Reuse) 方策を実施する。④産業廃棄物を再利用する(Recycle) 為の方策を実施する。⑤上記の努力によって発生した産業廃棄物を法に基づき適正処理をする。⑥掘削時に昔からの廃棄物等が出てきた場合にはそれが当社のものであっても直ぐに行政の担当窓口に出向き指導を仰ぐ。⑦安易な「自ら利用」は行わない。		
※事務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず
全 処 理 委 託 量	3.0 t	- t	200.0 t	10.0 t
優良認定処理業者 への処理委託量	2.0 t	- t	20.0 t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	3.0 t	- t	200.0 t	10.0 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	グラスウール
全 処 理 委 託 量	200.0 t	100.0 t	40.0 t	10.0 t
優良認定処理業者 への処理委託量	10.0 t	90.0 t	8.0 t	10.0 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	200.0 t	100.0 t	40.0 t	10.0 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	その他がれき類	コンクリート片	廃アスファルト
全 処 理 委 託 量	300.0 t	300.0 t	1,500.0 t	300.0 t
優良認定処理業者 への処理委託量	30.0 t	40.0 t	50.0 t	0.0 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	300.0 t	300.0 t	1,500.0 t	300.0 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	混合廃棄物（安定型のみ）	混合廃棄物（管理型のみ）	石綿含有産業廃棄物（管理型含む）	石綿含有産業廃棄物（安定型含む）
全 処 理 委 託 量	15.0 t	150.0 t	5.0 t	5.0 t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	15.0 t	150.0 t	5.0 t	5.0 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃石綿	-		
全 処 理 委 託 量	5.0 t	0.0 t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.0 t	0.0 t	- t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	5.0 t	0.0 t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。